

事務事業評価シート1(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0143/151005/02/00	事業の種類	1		
年度	20	事務事業名	公立保育所運営事業	作成日	重要度	4
予算事業名	保育所管理運営委託事業		担当課名	子育て支援室		
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり					
施策名	子育て環境		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	児童福祉法第24条、第56条、第51条 同施行令 同施行規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	就学前の児童を保護者の様々な理由で保育できない家庭				
	誰(何)を対象として	公立保育所 3ヶ所				
	意図(どのような状態にしたいのか)	保育に欠ける児童の養護と教育を行うとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		保育所管理運営事業・社会福祉法人相生市社会福祉事業団委託				
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	保育所入所	延月人	2,097	2,062	2,139	2,196
	保育料徴収	千円	60,379	51,161	52,873	49,834
	保育所管理運営	千円	177,651	162,146	178,605	185,189

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.085	102.4	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	0.150	0.160	106.7	0.160	100.0	0.100	62.5	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.060	-	
支出内訳	人件費	2,003,334	2,131,745	106.4	2,057,238	96.5	1,707,055	83.0	
	事業費	177,650,724	162,146,299	91.3	178,604,938	110.2	185,189,000	103.7	
	合計	179,654,058	164,278,044	91.4	180,662,176	110.0	186,896,055	103.5	
財源内訳	国庫支出金	180,000	180,000	100.0	180,000	100.0	180,000	100.0	
	県支出金	1,885,000	1,927,000	102.2	2,278,000	118.2	2,785,000	122.3	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	60,379,780	51,161,400	84.7	52,873,340	103.3	49,834,000	94.3	
	一般財源	117,209,278	111,009,644	94.7	125,330,836	112.9	134,097,055	107.0	
	合計	179,654,058	164,278,044	91.4	180,662,176	110.0	186,896,055	103.5	

4 評価指標

[有効性]

指標名1		公立保育所児童数							
指標説明(式)		年間延入所児童数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,050	2,352	114.7	2,000	85.0	2,196	109.8	
	実績	2,097	2,062	98.3	2,139	103.7			
指標名2		公立保育所充足率							
指標説明(式)		年間延入所児童数/年間延定員							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	118.8	118.8	101	85.0	110	108.9	
	実績	105.9	104.1	98.3	108	103.7			

[効率性]

指標名1		児童1人当たりコスト							
指標説明(式)		年間事業量 / 年間延入所児数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	85,672	79,669	93.0	84,461	106.0	85,107	100.8	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
有効性	成果目標(改善)達成度	事業団と綿密な連携のもとで実施し、目標は達成できている	4	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	保育を必要とする対象児童に待機児童なく、スムーズに事務処理ができている		
効率性	手段の最適性	マニュアルに沿った事務であるが、電算処理を取り入れることにより事務処理時間の短縮に努めている	4	4
	執行体制の効率性	指定管理者制度の導入により、サービスの向上、経費の削減を図っている。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	特別保育の充実、一時保育、休日保育等のPR不足と育児休業中の保育

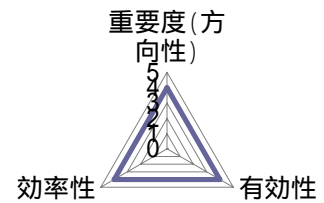
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた21年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	育児休業中及び、求職中にも保育実施対応し保育対策の拡大に応える
H20	H21予算反映額	0

(2) ヒアリング時指摘事項

--	--	--



検討の有無	-
総合指標	16